

特集 震災をふまえて… 動物との「よりよい暮らし」を考える(1)

いざ、災害！『ペット同行避難』のこと、真剣に考えたことがありますか？

東日本大震災でクローズアップされた、ペット連れ避難の難しさ…。その経験をふまえて、KAVAは、災害時の「ペット同行避難」について取り組みをはじめています。

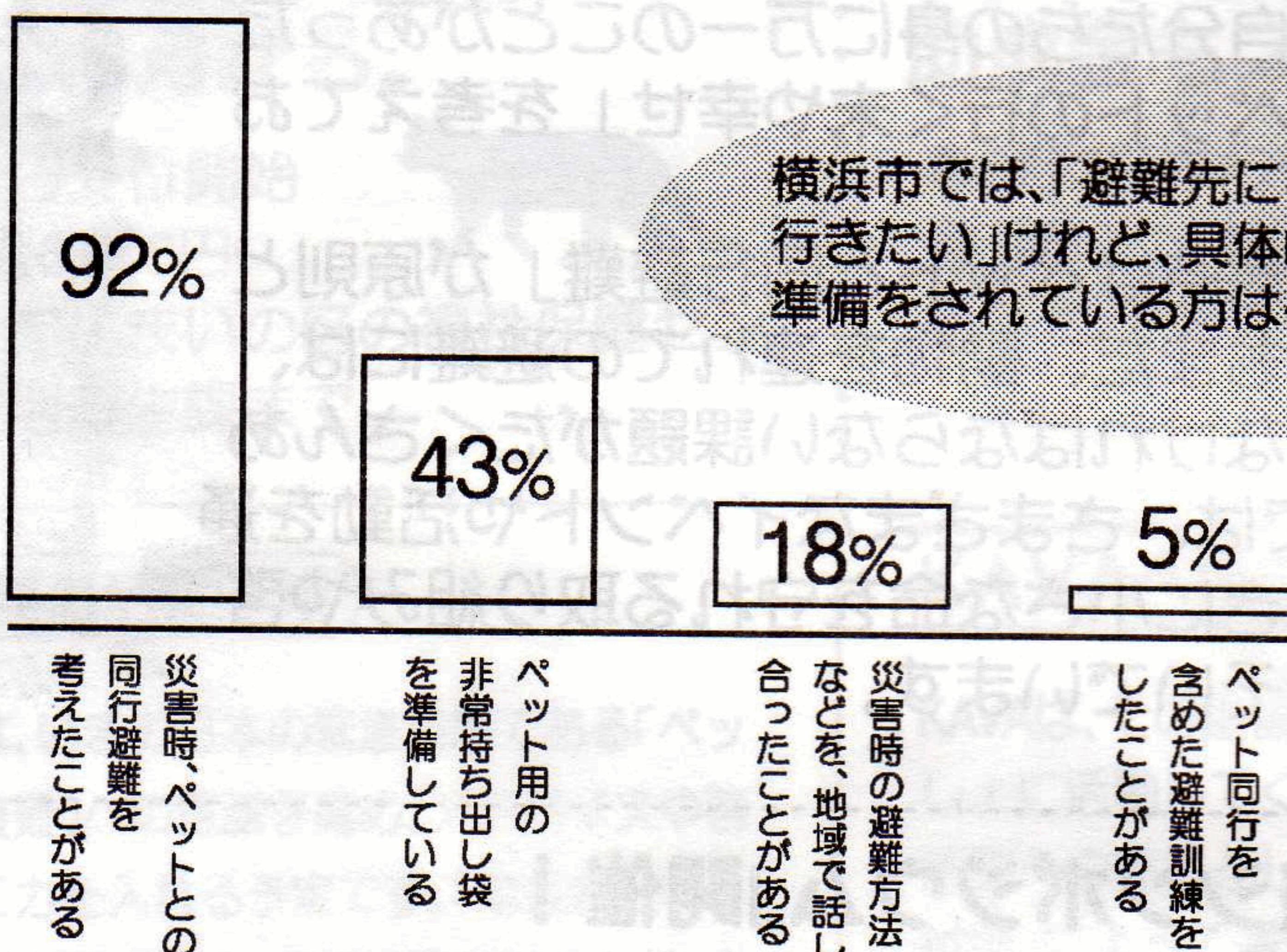


お話/
大久保 芳樹さん
(KAVA会員)

中区間門にあるペットショップ
「ミリオンペット」の店長さん。
ドッグトレーナーとしても活躍
されています。

●『ペット同行避難』を真剣に考えている人は、まだまだ少ない！

KAVAのアンケートによると… [2012年 横浜開港祭イベントにて実施]



●環境省により、『ペット同行避難』が原則に！

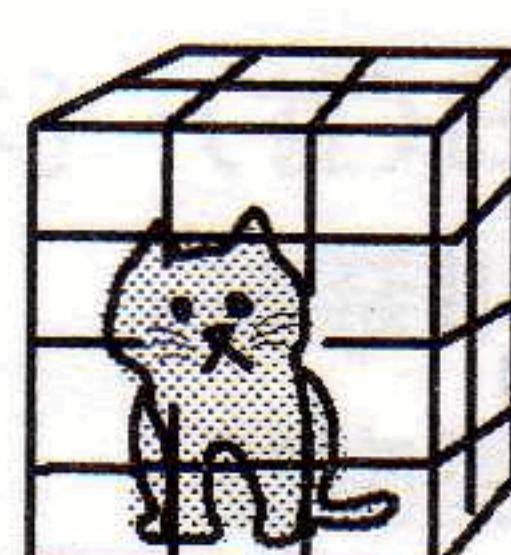
環境省がまとめた計画によると、今後、「災害発生時は、飼い主とペットは同行避難を行う」ことが原則に。ただ、避難所でのペット受け入れのルールづくりは、地域の防災拠点がそれぞれ取り組むことになっています。だから飼い主さんは、住んでいる自治会単位でペット防災について話し合っていく必要があるのです。

●『ペット同行避難』に備えて、いま、できること！

(1)近所の飼い主さんと連携を。

避難所で混乱を起こさないために、日頃から近所の飼い主仲間と話し合い、自治会を巻き込んで「避難先での飼育管理ルール」を考えておきましょう。

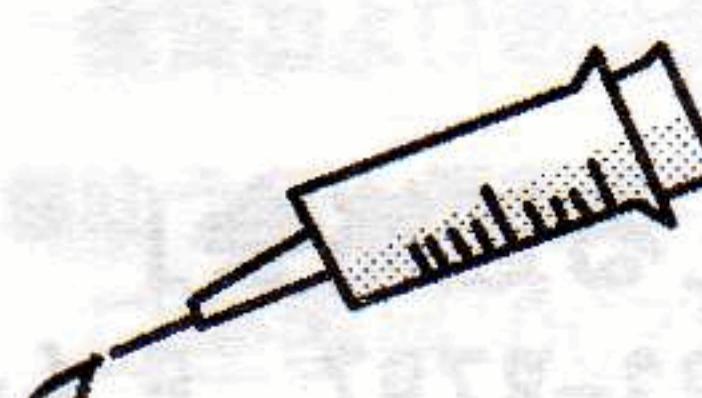
(2)これは必要！ペットのための防災準備



●ケージ
避難所ではケージ飼い。
避難所にケージの準備
はありません。



●しつけ
ムダ吠えせず落ち
着いて過ごせるように、
日頃のしつけが肝心。



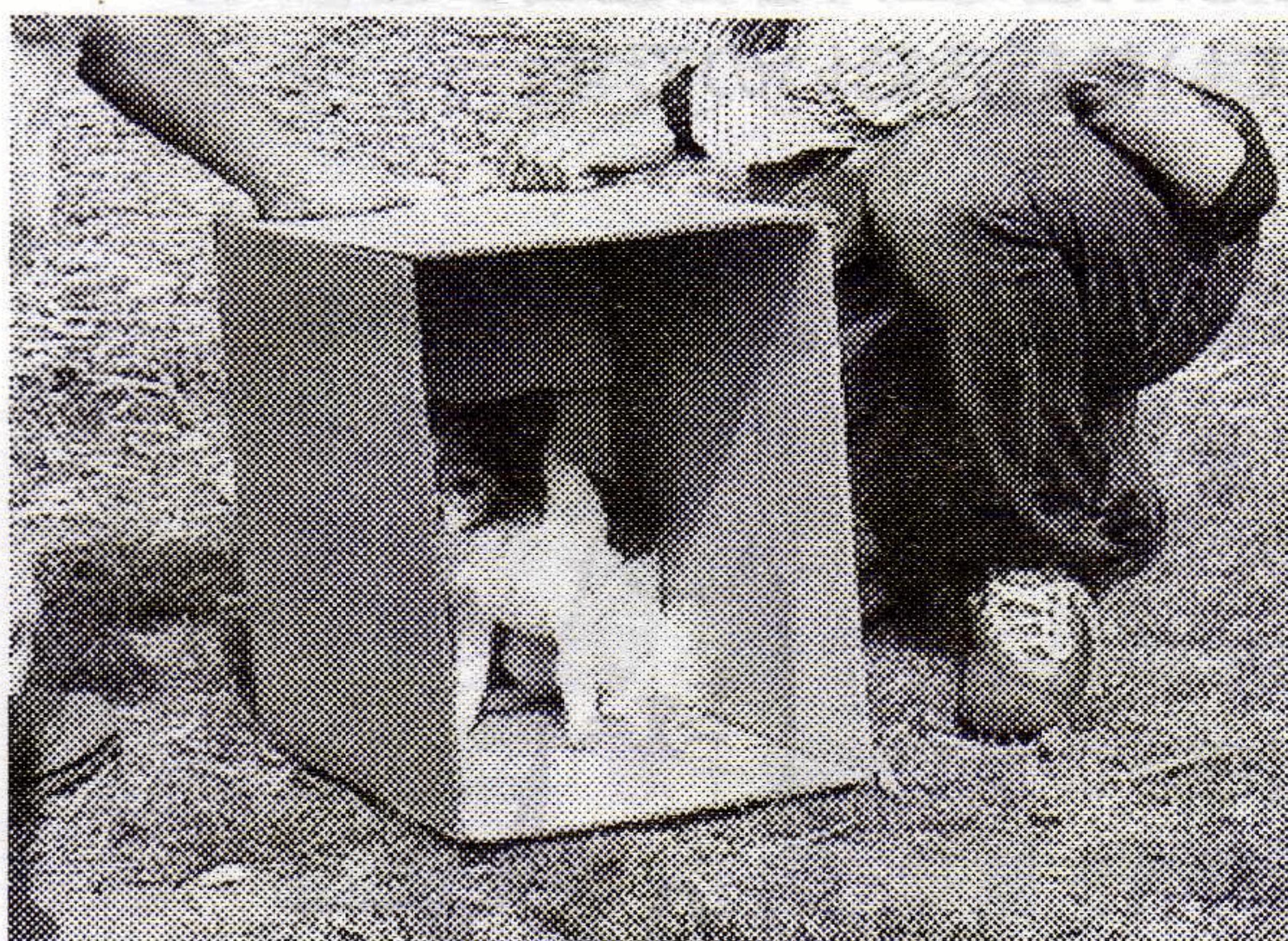
●狂犬病・ワクチン・ノミ予防
不衛生になりがちな
避難生活で、病気を
蔓延させない配慮です。



●ペット用災害袋
フード(5日分)、水と
水飲み器、リード、
ペットシーツ、タオルなど。

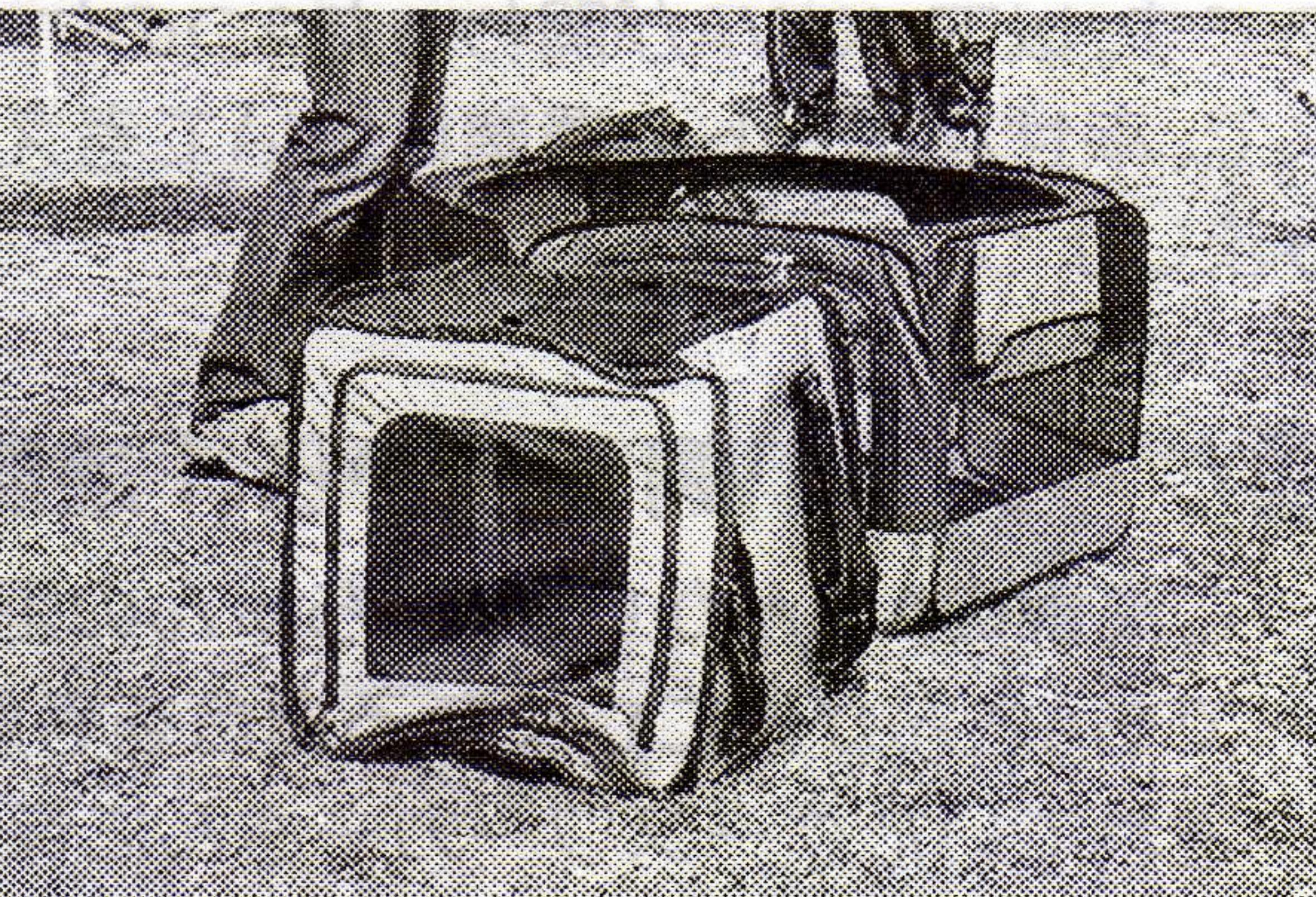
本牧山頂公園で、『ペット同行避難の訓練』を実施しました！

2013年3月20日、本牧山頂公園近くのマンション・グランドメゾン本牧の自治会の方々を対象に、『災害発生時のペット同行避難訓練』を実施しました。この訓練は、KAVAが主催し、中区生活衛生課や獣医師会、公園管理者など、行政ぐるみで取り組んで実現したもの。当日は、マンションに住む6組の飼い主さんとワンちゃんが参加してくれました。



また、この日用意したのは、コンパクトに折りたためる布製ケージ。いま横浜市には避難所で貸し出せるケージの準備がなく、ケージは飼い主さん持参が必要。このタイプのケージなら、家に常備して、ふだんから犬を慣らしておくことができますね。

まず、災害時にペット連れて避難することへの備えについて等をお話ししたあと、避難所で役立つハウストレーニングを実施。東日本大震災の時はケージが不足し、段ボールがハウスとして使われた経験から、段ボールハウスに慣れさせるレッスンです。こうした訓練を通して、飼い主さんが事前に準備するものや、災害時の課題を知ることができます。



KAVAでは、自治会単位での『ペット同行避難訓練』の推進に取り組んでいます。興味をお持ちの方は、どうぞKAVAにご相談ください！



Eメール:kava-12110ban@docomo.ne.jp